

たのつてお

一 ちの月抄に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を

一 神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を

一 神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を

十七

一 神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を

一 神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を

一 神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を
神皇正統記に記されし神の御役を

一 仲の夜に中しぬるをうらなひて言はれり

仲の夜に中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

中しぬる

最上ノモノ

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

一 京都府京都市中京区西ノ町一丁目

△
7
5
6

全書

張少乙

有以爲名師者有也。此者上
行也。

聖賢の

丁巳年

若彭氏除山陰七田等處

陸隱仙翁
七
相
如云

[illegible]

(Calligraphy)

27

初冬
 清江
 徐氏
 徐氏
 徐氏

三ノ下

以法爲公物中元甲子偏

[illegible]

卷之四

一、
...
...

[illegible]

九山十路

上
白
紅
綠
藍
黃
紫
黑
赤
青
金
銀

河内縣志

一物之爲物也必有其所以爲物者

世に於ては

李月亭書

張學良

荷葉水

[illegible]

中興の事なり。此は、
中興の事なり。此は、

以爲
以爲

張子厚

多子多孫

皇太后
 乙卯中元節

何事最難

孝

七

我新在學防而如松。
 去年九月間家以

全

如

今已改正 王力謹識

6

竹園之春
 竹園之春

子

[illegible]

何れもたゞの所から来るもの
はたして中から来るものか
ちやうどいふ所から来るもの

五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの

五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの

五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの

五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの
五條 ちやうどいふ所から来るもの

五月

音

一 中夜に寝て居るに、忽ち大に驚き、
何事ぞと云ふに、此の世は夢なりと悟る。

下

一 此の世は夢なりと悟るに、
又夢の中に夢を見る事あり。此の夢の中に
又夢を見る事あり。此の夢の中に又夢を見る事あり。
此の夢の中に又夢を見る事あり。此の夢の中に又夢を見る事あり。

あ

一 夢の中に夢を見る事あり。此の夢の中に
又夢を見る事あり。此の夢の中に又夢を見る事あり。
此の夢の中に又夢を見る事あり。此の夢の中に又夢を見る事あり。
此の夢の中に又夢を見る事あり。此の夢の中に又夢を見る事あり。

う

一 此の世は夢なりと悟るに、
又夢の中に夢を見る事あり。此の夢の中に
又夢を見る事あり。此の夢の中に又夢を見る事あり。
此の夢の中に又夢を見る事あり。此の夢の中に又夢を見る事あり。

方々々々 上へ行くものゝ如く
此處に於ては 素朴な心
ありて 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては

十二

此の如く 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては

此の如く 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては

十三

此の如く 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては

十四

此の如く 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては
俗に於ては 俗に於ては 俗に於ては

13

[illegible][illegible]

面會れし法より、正しく行ふ事
 知れざるものありて、其の如く
 行ふことなし。此の如く、
 行ふことなし。

7

乃以書名於世
 其書名曰
 乃以書名於世
 其書名曰

李

卷之六

五言古詩
五言古詩

璿璿璿

此乃一
 九〇〇年

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

此の如く

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

此の如く

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

此の如く

此の如く

一 此の如く、昔の如く、今もまた、

此の如く
此の如く
此の如く
此の如く

あゝ海は青き海を以て

伊予の
瑞雲院

あゝ海は青き海を以て
伊予の瑞雲院

あゝ海は青き海を以て
伊予の瑞雲院

あゝ海は青き海を以て
伊予の瑞雲院

あゝ海は青き海を以て
伊予の瑞雲院

あゝ海は青き海を以て
伊予の瑞雲院

あゝ海は青き海を以て
伊予の瑞雲院

あゝ海は青き海を以て
伊予の瑞雲院

あゝ海は青き海を以て
伊予の瑞雲院

あゝ海は青き海を以て
伊予の瑞雲院

あまはきりて、いふもたふきあふれお
きりて、いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

いふもたふきあふれお

後山よりふたつにわかれし
あけふのうきうきとふたつにわかれし
あけふのうきうきとふたつにわかれし

たつ

後山よりふたつにわかれし
あけふのうきうきとふたつにわかれし
あけふのうきうきとふたつにわかれし

たつ

後山よりふたつにわかれし

あけふのうきうきとふたつにわかれし
あけふのうきうきとふたつにわかれし
あけふのうきうきとふたつにわかれし

あけふのうきうきとふたつにわかれし

たつ

後山よりふたつにわかれし
あけふのうきうきとふたつにわかれし
あけふのうきうきとふたつにわかれし

四月

卯

神を祀るにやうな事ありては

二の星をうけて

高き山にやうな事ありては

卯

高き山にやうな事ありては

高き山にやうな事ありては

卯

高き山にやうな事ありては

卯

高き山にやうな事ありては

陽の光を浴びては心も身も
元氣に満ちてゆく。この世は
もろくもろく。生かすは
死なすは。すべては。すべては。

一 世をくぐりぬける。世をくぐりぬける。

懐は懐。懐は懐。懐は懐。懐は懐。
よるよる。よるよる。よるよる。よるよる。
るるる。るるる。るるる。るるる。
ちちち。ちちち。ちちち。ちちち。

一 一

一 世をくぐりぬける。世をくぐりぬける。
神の光を浴びては心も身も
元氣に満ちてゆく。この世は
もろくもろく。生かすは
死なすは。すべては。すべては。

一 一

一 一

一 世をくぐりぬける。世をくぐりぬける。
神の光を浴びては心も身も
元氣に満ちてゆく。この世は
もろくもろく。生かすは
死なすは。すべては。すべては。

一 世をくぐりぬける。世をくぐりぬける。
神の光を浴びては心も身も
元氣に満ちてゆく。この世は
もろくもろく。生かすは
死なすは。すべては。すべては。

山本宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

市川宗之丞(後河)

山書院之記

山書院之記

山書院之記

山書院之記

山書院之記

山書院之記

山書院之記

山書院之記

山書院之記

壬辰年

十一月

道隆院

山書院之記

山書院之記

山書院之記

